

令和2年度 学校自己評価表 安芸太田町立上殿小学校

1学期

教育目標		豊かな人間性と 将来をたくましく生きぬく児童の育成						
学校経営の重点		○主体的な学びの育成…深い学びを引き出す授業づくり ○基礎基本の定着・活用 ○探求的な体験活動を通じた豊かな感性の育成 ○基本的生活習慣の確立						
中期経営目標		短期経営目標	担当	目標達成のための方策	評価指標	資料	1学期達成状況	1学期 最終コメント
確かな学力の定着	学ぶ意欲や学び合う態度を身につけさせ、よりよく問題解決ができる子供を育てる。	学びに向かう力を高め、深い学びを育成する。	教務	深い学びのある単元づくり・授業づくりを通して、課題を発見する力、主体的に学ぶ姿勢、協同する力、課題解決するための整理分析をする力を育てる。	児童アンケート肯定的回答80%以上。ノート・ワークシートの記述が評価規準のB規準以上の児童の割合80%以上。	児童アンケート ノート ワークシート	3	児童アンケート「生活科・総合的な学習の時間の授業はすきです。」の肯定的回答は、84%であった。ノート等の児童の記述がB規準以上の児童の割合は、87.5%であった。1学期は、やまゆり訪問、田植え等の活動を行った。やまゆり訪問は高学年、田植えは中学年が今後の総合的な学習の時間で探求していくことになる。
		基礎基本の定着を図る。		教材等の特質に応じた見方、考え方を習得する授業改善を進める。帯タイムや補充学習・家庭学習における基礎基本の力をつける取組を継続し、学力の向上を図る。	国語・算数の学期末テスト全国平均以上の児童の割合75%以上。	学期末テスト	3	4月中旬から5月終わりまで、臨時休業となり、現時点で学期末テストを行えないことから、これまでに行ったテストの到達度を指標とした。80点以上の児童の割合は、国語58%、算数75%である。国語の漢字や語彙等の言葉の力が不十分な児童が多いので、補充の時間を使い、力をつけていく。また、問題を丁寧に読み取り、解答方法による誤答をなくしたり、すべての問題を解こうとしたりする等、最後まで粘り強く取組む力を育てていく。
豊かな心の育成	心豊かな子供を育てる。	当たり前のことをきちんと行う、自己指導力を高める。	生活安全	ルールや決め事の内容及びその意味を児童に周知させる。児童会の月目標の取り組みの中で、学期に1回目標達成キャンペーンを実施し、ルールを守ろうとする意欲を高める。	キャンペーン期間中の月目標の達成率80%以上。	児童会主催の キャンペーン結果	1	臨時休業があり、児童会活動が予定通りできず、児童会主催のキャンペーンが実施できていない。今後、キャンペーンを実施するときには、達成感が持てるような評価をして、ルールを守ろうとする意欲を高めたい。
		自己肯定感を高める。		児童理解の職員研修を行い、共通認識を持って児童へ関わる。互いを認め合ったり自分を肯定的に認めたりする場を設ける。	児童アンケートにおける肯定的評価の割合70%以上。	児童アンケート	2	児童アンケートで、「自分のことが好きです。」という項目は60%で、「自分のいいところや得意なことを3つ言える。」という項目は76%であった。児童が自分の長所を認めることができるように、職員が積極的に評価をしたり、児童同士の肯定的な評価が生まれることを仕組んだりしていく。
健やかな身体力の育成	たくましい体を持った子供を育てる。	基本的生活習慣を確立する。	生活安全	年間2回の生活振り返り活動を行い、基本的生活習慣の確立、特に起床時刻・就寝時刻の固定を目指す。	生活振り返り活動における起床時刻・就寝時刻の固定ができた児童の割合80%以上。	生活振り返りアンケート	2	起床時刻が固定されている児童は80%、就寝時刻は64%、どちらも固定されている児童は54%であった。また、半数以上の児童が11時以降に就寝する日があるなど、時刻の固定以外の課題も大きい。結果とコメントは児童に返し、今後の目標を立てさせ、そのことを学級懇談にて保護者にも伝えていく。今後は基本的生活習慣についての保健指導の実施や保護者啓発も行っていく。
		体力の向上を図る。		業間運動の充実や体育科授業改善を図る。	一輪車カードから各自1つの種目を選び、その種目の達成率を80%以上。体力テストで昨年度の県平均を下回った種目(2種目)において、前回記録を上回った児童の割合80%以上。	記録	2	1学期は、業間運動を中心に、一輪車の技を身に付ける取組を通して体力の向上を図った。自分の目標の技を達成した児童は64%であった。臨時休業や雨天で練習時間が十分とれなかったことも影響していると考えた。2学期は、6月に行った体力テストの結果を分析して、記録が向上するように取り組んでいく。
開かれた学校づくり	信頼される学校づくりを推進する。	情報発信を積極的に行い、保護者・地域の理解を深める。	総務	・学校からの便りやHPの更新を通して、情報提供を行う。 ・来校の機会を通して、互いの理解を深める。	学期ごとに行う保護者アンケートにおいて、肯定的な評価を90%以上にする。	保護者アンケート	3	保護者アンケートで「学校からの便りやホームページ、PTA集会等を通して学校の様子がよくわかる。」という項目は94%だった。学校での児童の様子だけでなく、臨時休業中の連絡も含めてホームページを中心に情報を発信し、家庭での過ごし方等について保護者の方に協力をしていただくことができた。また、PTA集会を7月に開催し、今後に向けて理解を得ることができた。
		働き方改革を推進する。		・優先順位をつけて効率的に業務を進めることの習慣化を図る。 ・日々の業務や学校行事等の持ち方を見直し、児童と向き合う時間を確保する。	指針に沿って、次の数値以下にする。 勤務時間外在校時間 月45時間 年360時間	勤務時間外在校 時間記録表	2	勤務時間外在校時間 月45時間の達成状況は、4月から6月において71%である。校内研修等を通して働き方を見直し、業務改善を継続する。

評価基準

4:100%達成 3:80%おおむね達成 2:60%以上達成 1:60%未満